

「車いすスキル指導者（初級車いすインストラクター）養成講習会」実施要項

1 目的 本講習会は、車椅子利用者の行動範囲を広げるための効果的な技術指導法について専門的な知識を習得することを目的に実施します。この講習で習得する指導法は、ホルスト・ストローケンデル博士（ドイツ）が考案した対象者の心理面を考慮したドイツ式の車いすの指導メソッドをベースに、より日本人に適した形に改良した指導法です。障がい者スポーツ指導員、医療・リハビリ関係者等には是非参加していただきたい内容です。

2 主催 （一社）岩手県障がい者スポーツ協会

3 共催 （公社）日本フィランソロピー協会、サントリーホールディングス株式会社

4 後援 （一社）岩手県理学療法士会、（一社）岩手県作業療法士会

5 実施概要

(1) 日程：令和2年8月8日（土）～8月9日（日）※詳細日程は、次ページ参照。

(2) 会場：ふれあいランド岩手・ふれあいホール（1階）

(3) 内容：基礎的な車いす操作スキルの指導法/スポーツの活用法

(4) 定員：20名（先着順）

(5) 対象者：障がい者スポーツ指導員、PT、OT、車いす販売業者、その他関心のある方

(6) 講師紹介

①講師：一般社団法人コ・イノベーション代表理事 橋本 大佑 氏

②紹介：筑波大学で障害児教育を専攻。卒業後、ドイツに渡り、車いすスポーツを通じた障害児・者への導入指導方法について学び、ドイツ障害者スポーツ連盟公認リハビリテーションスポーツ指導者（車いすスポーツ）資格を取得する。2009年に日本に帰国後、障害者の運動導入指導に関する研修会の企画・運営・講師等の活動を行うとともに、ドイツから専門家を招聘して、国内各所で研修会等を実施している。

(7) 本講習会で指導法を習得する主なスキル

■前進（グリップ・姿勢・ストレッチテクニック・スライディングテクニック）

■ブレーキ（姿勢・グリップ位置） ■スラローム走

■ターン4種（前進中のターン1種・静止状態からターン3種）

■バック（姿勢・ストローク） ■前進中に片手ストロークで直進を維持

■スロープ（5度）の昇降 ■スタンプ ■静止状態からの段差（5cm）の昇降

■段差のない平地での介助及び介助指示

■悪路（砂利・芝生など）の介助及び介助指示ができる

■段差昇降の介助及び介助指示 段差（1段/2段以上）の昇降（介助者1名/介助者2～3名）

6 車いすインストラクター（初級）資格取得について

本講習会を2日間受講した方は、ご希望により、初級車いすインストラクター資格が取得可能です。また、取得者には、日本車いすインストラクター公認の認定証をお渡しいたします。申込用紙に資格取得希望についての記載欄がありますので、ご確認の上、お申込ください。

7 申込について

(1) 申込方法 別紙申込書に必要事項を記載の上、FAX・Eメール等にてお申込みください。

(2) 申込期限 令和2年8月3日（月）

8 申込・問合せ先

一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会（担当：三浦、小坂）
〒020-0831 岩手県盛岡市三本柳 8-1-3 ふれあいランド岩手 内
TEL 019-637-5055 / FAX 019-637-7626 / E-mail: info@iwate-adaptive.or.jp

9 日程表

期日	時間	講座・内容
8日 (土)	9:30~	受付
	10:00~10:10	開講・オリエンテーション
	10:10~11:10	車いす操作指導概論 I 車いす操作やその指導の意義、障害受容のステップ
	11:10~12:00	車いす操作指導概論 II 方法論的指導法の構造、車いす操作指導時の配慮点
	12:00~13:00	昼休み
	13:00~14:30	車いす指導各論 I (前進・ブレーキ) 前進・ブレーキの指導法 ※指導法の講習は、方法論的指導法での指導ステップ、試技を行うための操作スキルの習得及び参加者間での指導体験を含みます。
	14:30~16:00	車いす指導各論 II (ターン) ターンの指導法
9日 (日)	10:00~11:00	車いす指導各論 III (バック・段差) バック・段差の指導法
	11:00~12:00	車いす指導各論 IV (介助) 介助の指導法
	12:00~13:00	昼休み
	13:00~14:00	車いす操作指導概論 III 車いす体験と障害理解、心のバリアフリー
	14:10~14:40	車いす操作指導概論 IV 車いす操作指導時におけるスポーツ・ゲームの活用法
	14:40~15:30	グループワーク 車いす操作習得を含むスポーツ教室・体験教室のアイデアを作ってみよう
	15:30~16:00	発表
	16:00~16:15	クロージング 主催者挨拶・修了証授与

10 その他

- *新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては事業を中止することがあります。
- *参加にあたり、別紙、感染防止に係るガイドラインにご協力をお願いいたします。

この事業はサントリーグループの東日本大震災復興支援「サントリー東北サンさんプロジェクト」チャレンジド・スポーツ支援事業の支援により実施します。

SUNTORY

公益社団法人
日本フィランソロピー協会



サントリーグループでは東日本大震災後に『東北サンさんプロジェクト』を立ち上げ、「漁業」「チャレンジドスポーツ（障がい者スポーツ）」「子ども」「文化・スポーツ」の分野を中心に総額 108 億円の規模で復興支援に取り組んでいる。このプロジェクト名は、太陽（サン）の光がさんさんとふりそそぐように笑顔と希望を届けたいという思いが込められている。当協会も 2014 年度から様々な支援をいただいている。